

就労支援アセスメントシート v1.00 活用のポイント

- 大項目として3つの領域に分けてあります。
 1. 日常生活
 2. 対人関係
 3. 作業上の行動・態度
- このアセスメントの着目点として、作業・職業スキルといったハードスキルより生活面での自立度、対人・コミュニケーションスキル、職業行動面といったソフトスキルを重視した内容になっております。
- よって、過去の職業経験で得られる情報として、どういう作業をしてきたか、職種はどうかというより、職場での困難さや他者の評価がどうだったかを聞き取りの中から得られるようご本人だけでなく、ご家族や関係者からも聞き取ることが有効です。
- 評価基準として、「1」はすでに達成している項目、「4」は現状として本人の能力を超えており多少の努力や支援では克服しづらい項目と考えます。「2」、「3」については現時点ではまだ習得できていないが、短期の訓練や支援の工夫をすることによってご本人の達成可能なスキルと考えます。この項目を重点的により具体的に聞き取ることで、現状と課題が抽出できる可能性を秘めています。
- チェック項目は、「優先される支援課題」であり、評価基準の「2」、「3」が該当すると思われます。そのうち、ご本人のご希望、障害特性、パーソナリティ、影響する環境因子などを総合的に勘案し、より優先される項目が支援目標の参考になります。
- それぞれの項目に、別添のガイドラインを設けてあります。ご本人の質問の受け取り方によって、相談者の想定している程度や質、量が微妙に違ってきますので、必要に応じてガイドラインを参考に具体的に確認されると有効です。
- アセスメントシートの内容、手法については、必要に応じて改正して参ります。ご活用の際し、お気づきの点があればご意見賜れば幸いです。